

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスあんじゅ				支援プログラム（児童発達支援）		作成日		R7	年	6月	1日
法人（事業所）理念		子どもたちの健全な発達に向け、安心して過ごせる居場所の提供を目指します。一人ひとりの発達や特性を見極め、遊びを通して楽しく学べる環境を創造し、子ども自身が「楽しい！」「もっとやりたい！」とチャレンジしていく姿を応援お手伝いしていきます。											
支援方針		楽しいこと、好きなことを通して「できる！」を増やし、自信が持てるように支援します。 難しい時は手伝ってもらい、一人で頑張らなくてもいいことを経験しながら、自立できるように支援していきます。											
営業時間		9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無		あり	なし
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	来所時には検温・手の消毒を実施し健康チェックを行う。活動準備の際に全身の清潔とケガ等のチェックを実施する。排泄については、個々の発達状況に応じてトイレ誘導を行い、自立排泄獲得にむけて支援を行う。発達状況チェック表で子どもたちの生活身辺面の確認を行い、手洗い・食事・歯磨き・着替え等について未獲得の部分を、個々の発達に応じて支援していく。											
	運動・感覚	感覚統合療法を参考に、平均台・トランポリン・ボール投げなどを活動の中に取り入れ、運動機能・体幹・感覚の発達を促していく。また季節に応じて公園での遊具遊びやプール遊びを取り入れ、集団での遊び、粗大運動の獲得を促していく。また自立課題やプログラムの中に指先を使う微細運動を取り入れ、手や指の運動機能の発達を促していく。											
	認知・行動	自立課題の時間を設定し、各自の発達状況に合わせて、シール貼り・点つなぎ・迷路・塗り絵・数字合わせひらがな練習等のプリントワークや、パズル・型はめ・ひも通し・色合わせ・箸の練習等のワークを組み合わせて実施する。発達状況チェック表を活用し、発達の状況にて課題を設定し、個別の支援を実施し、認知面や行動の自律の発達を促していく。											
	言語コミュニケーション	朝のお集り・帰りの会を小グループで実施し、お名前呼び・発音の練習等を取り入れ、発語が未獲得のお子さんには、教室の構造化や絵カードや写真カードを活用し、言語発達を促していく。またスケジュールカードを利用して準備の流れ（ルーティン）の理解を促したり、絵カードを利用したコミュニケーションの取り方の練習をして、次の行動の理解や意思表示をする力を身につけ、コミュニケーション力の向上を目指す。											
	人間関係社会性	小グループによる活動の中で、お友達や先生とのやり取りや遊び・活動を通して、お互いが安心して関われる人間関係を構築する。特に同じ年齢のお友達や年上・年下のお友達との関係についても同時に学んでいく。また、定期的な散歩や買い物、お楽しみ会やイベント参加などの所外活動を通して、乗り物体験、公園遊び、買い物やレジャー体験等を通し社会性を養う。											
家族支援		利用時には、送迎時の直接会話の中で療育中の様子や支援内容について情報共有を行う。家庭での困り感や悩んでいることについて、相談があれば電話や直接アドバイスを行う。必要に応じて自宅を訪問したり、事業所内で面談を行ったりして、問題解決のための手立てを一緒に考え検討していく。						移行支援		事業所で支援し習得した行動を園や家庭等で同様の行動ができるよう、般化を目指した支援を行う。インクルーシブの観点から地域社会の中で積極的に活動することを推進するため、地域の公園等を活用し、集団活動を行う。保育所への訪問や受け入れの際に行った会議等を通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施する。			
地域支援・地域連携		幼稚園・保育所等での様子や困っていること等、必要に応じて保護者からの要望があれば園に出向いていき、支援のあり方等について情報を共有する。						職員の質の向上		年間を通して各種研修受講を計画し、職員のスキルアップを図る。各種研修・児童発達支援管理責任者・相談支援専門員研修等については予算化をしている。			
主な行事等		各季節に応じたの行事（初詣・福笑い・節分・ひなまつり制作・こいのぼり制作・七夕・野菜の種まきや収穫・ハロウィンパーティー・クリスマス会等） SSTに関するイベント（街の散策・各施設訪問等） 外出支援（公園遊び・お買い物）・年長児お楽しみ会・公共交通機関利用など											